

2 高度処理を目的とした開発・研究について

	アンケート回答(記述事項)
A社	1. 脱窒型浄化槽の開発(技術:脱窒型は生物学的脱窒) 2. 脱リン型浄化槽の開発(技術:脱リン型は生物学的脱窒に鉄電解法を用いたリン除去)ー
B社	富栄養化対策(水源地域向け)(技術:生物処理による窒素除去が中心)
C社	富栄養化対策・高度処理(技術:鉄電解によるリン除去)
D社	ー
E社	富栄養化対策(リン・窒素)(技術:膜処理利用)
F社	ー
G社	ー
H社	富栄養化対策(窒素・リン)、総量規制対策(技術:生物学的脱窒とリン吸着によるN・P同時除去、P回収)
I社	ー
J社	1. 富栄養化対策(リン・窒素)(技術:生物学的脱窒とリン吸着によるN・P同時除去) 2. 雑用水としての再利用(有機物)(技術:膜処理利用)
K社	富栄養化対策(リン・窒素)(技術:生物学的脱窒とリン吸着による除去)
L社	富栄養化対策(窒素、リン除去)(技術:既に商品化している、窒素・リン除去型浄化槽の改善(ランニングコストの低減、処理機能の安定化、維持管理の容易性など))
M社	1. 閉鎖性水域の富栄養化対策(技術:生物学的脱窒とリン吸着によるN・P同時除去) 2. 中水道、散水用水としての再利用(技術:膜処理利用)
N社	ー
O社	今後、高度処理放流地域の拡大に基づく対応。(技術:生物学的脱窒及び化学的脱窒・脱リン)
P社	ー

3 小容量化を目的とした開発・研究について

	アンケート回答(記述事項)
A社	1. 資源の減量化(技術:余剰汚泥の濃縮・貯留方法) 2. 施工性の向上
B社	既設単独浄化槽の入れ替え用合併処理浄化槽の開発(技術:余剰汚泥の減容化等)
C社	単独浄化槽の転換(技術:汚泥の効率的な貯留)
D社	—
E社	単独処理浄化槽の転換、窒素除去型(技術:微生物の高濃度化)
F社	—
G社	—
H社	省スペース化、コストダウン(技術:処理時間ロス解消、担体開発)
I社	—
J社	1. 資源・廃棄物の減量化(技術:余剰汚泥の濃縮、減容化) 2. 単独処理浄化槽の転換(技術:微生物の高濃度化(担体開発など))
K社	—
L社	①汚泥処理施設の負担を少なくする。②浄化槽管理者(使用者)の負担(清掃費)の軽減、③面的整備での整備率の向上(スペース的に設置できないような条件を減少させる)
M社	資源・廃棄物の減量化、資源の有効活用、単独処理浄化槽の転換(技術:余剰汚泥の濃縮、減容化)
N社	—
O社	単独浄化槽の合併への転換(技術:余剰汚泥の濃縮、減容化)
P社	—

4 浄化槽汚泥の減量化・減容化を目的とした開発・研究について

	アンケート回答(記述事項)
A社	—
B社	1. 小容量化、2. 発生汚泥の減容による汚泥処理施設の負担低減(技術:イニシャル、ランニングコストを抑えた、最適システムの構築)
C社	小容量化(技術:汚泥転化方法と貯留方法)
D社	—
E社	—
F社	—
G社	—
H社	維持管理コストの削減(技術:発生の抑制、有用菌の利用、有用菌優占利用のための装置)
I社	—
J社	小容量化、維持管理(清掃)コストの削減
K社	—
L社	今後は単独処理浄化槽の合併転換、高度処理化、ディスポーザ排水などを浄化槽で処理するなど間違いなく汚泥が増える方向になるので、①汚泥処理施設の負担を少なくする。②浄化槽管理者(使用者)の負担(清掃費)の軽減のために(技術:好気性消化、蓄積汚泥の高密度化(減容化)ほか)
M社	—
N社	—
O社	小容量化、硝化スピードの促進(技術:好気性硝化の導入、ろ材に対しての水流)
P社	—

5 小規模事業場の排水処理を目的とした開発・研究について

	アンケート回答(記述事項)
A社	—
B社	—
C社	—
D社	—
E社	—
F社	—
G社	—
H社	—
I社	—
J社	油脂含有排水対策として、油分解菌を用いた処理法を環境実証モデルとして実証して頂いたが、更にシステムの拡充を図っている。
K社	—
L社	特に厨房系廃水処理で、処理機能の効率化のために、使用担体の研究と有機系廃水の中では油分が多い用途に対して、効率的な油分解菌の研究他
M社	油脂分解菌の添加など新しい処理方式の開発
N社	—
O社	小規模事業場等の含油排水の処理を目的にした複合微生物を活用した生物反応槽の運用
P社	—

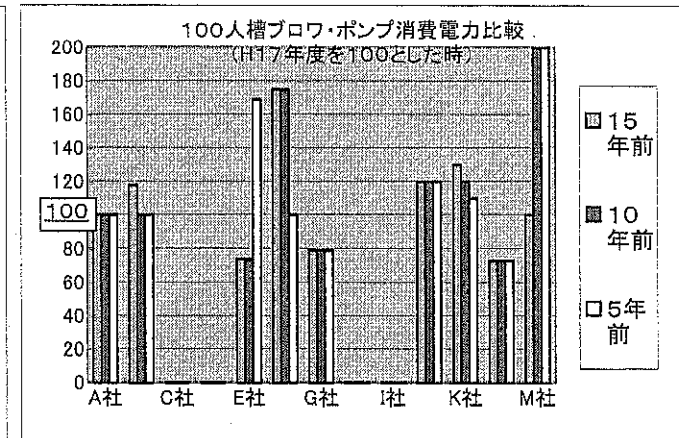
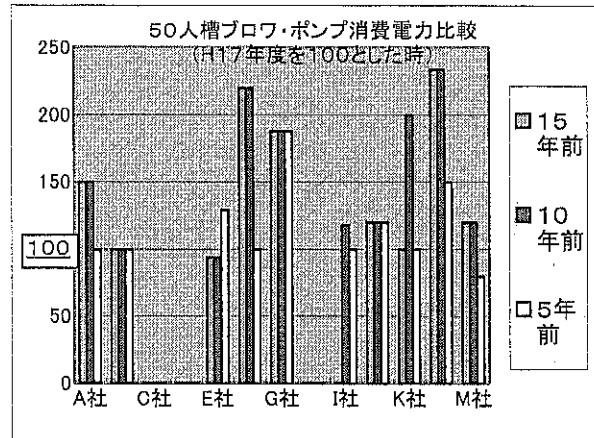
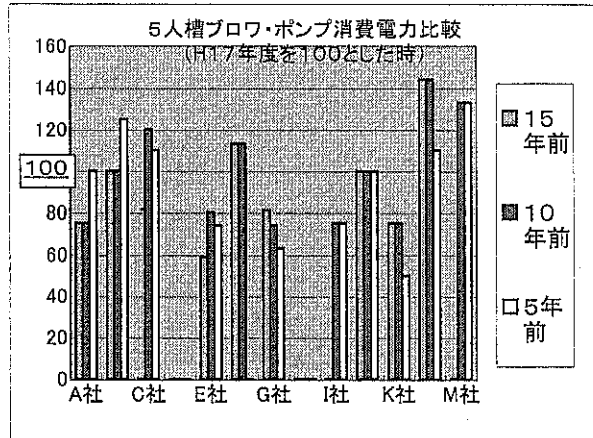
6 維持管理の向上を目的とした開発・研究について

	アンケート回答(記述事項)
A社	—
B社	1. DO、pH値制御による合併処理浄化槽を開発(大規模浄化槽) 2. 臭気抑制を目的とした要素実験
C社	—
D社	—
E社	シーディング剤の開発
F社	—
G社	—
H社	通信を利用した中央監視システム
I社	—
J社	処理の高度化、高効率化に伴い制御が複雑化する。維持管理を考慮した自動制御が重要と考えている
K社	—
L社	個別の浄化槽の処理状況を「遠隔監視」により、集中的に把握し、処理機能の早期改善、保守点検の効率化などを通じ、市町村(面的整備)や浄化槽管理者に安心と負担軽減が可能な浄化槽システムの構築をめざす。
M社	遠隔監視(電話回線)による放流水質(BOD、COD、T-N、その他)の監視及び機器の制御
N社	—
O社	内部構造をシンプルにし、高度処理型でも従来型と同等の操作で維持管理ができるシステム
P社	—

循環型社会の構築や温暖化対策を考慮した設計・製造方法について(対象:工場生産品)

(1)ブロウ・ポンプ類の定格消費電力(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	75	75	100	150	150	100	100	100	100	100	100	100	-	-	-	
B社	100	100	125	100	100	100	118	100	100	100	100	100	133	119	100	約8年前に5～10人槽は、同一仕様ブロウに統一。現在省エネ型ブロウに切替え運用中。
C社	-	120	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10人槽以上の生産浄化槽はなく、10年前に事業を始めました。
D社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E社	59	80	74	94	94	129	74	74	169	224	224	343	-	-	698	
F社	113	113	-	220	220	100	175	175	100	140	140	100	-	-	-	
G社	81	74	63	188	188	188	79	79	79	-	60	60	-	-	-	
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I社	-	75	75	-	118	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J社	100	100	100	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	
K社	75	75	50	100	200	100	130	120	110	150	130	120	150	130	120	
L社	144	144	110	234	234	150	73	73	73	120	120	120	-	-	-	
M社	-	133	133	120	120	80	100	200	200	100	147	147	100	100	100	コンパクト化により減少



注) (社)浄化槽システム協会会員全38社にアンケートを依頼し回答があった社のみ記述

(2) プラスチック類の原材料の量(同一人槽・同一性能(放流水BOD20mg/L以下)の浄化槽)について平成17年度を100とした場合の値

	5人槽			50人槽			100人槽			200人槽			500人槽			備考
	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	15年前	10年前	5年前	
A社	140	140	100	160	160	100	100	100	100	100	100	100	-	-	-	
B社	114	109	105	108	104	103	161	127	100	103	109	100	134	104	100	
C社	-	90	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
D社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
E社	85	108	98	137	137	125	222	222	139	187	187	141	-	-	139	
F社	118	110	-	128	122	100	226	226	100	186	186	100	-	-	-	
G社	95	110	92	156	156	156	153	153	145	-	195	173	-	-	-	
H社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
I社	-	123	110	-	166	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
J社	130	130	130	130	130	100	130	130	100	130	130	100	130	130	100	
K社	100	100	95	150	150	125	150	150	150	150	150	150	150	150	150	
L社	120	120	100	115	115	100	195	195	195	160	160	160	-	-	-	
M社	-	126	100	145	145	100	210	167	167	210	167	167	210	167	167	5,50人槽:嫌気ろ床接触ばっ気から担体流動コンパクト化による減少 100~人槽:沈殿分離→流量調整→担体流動コンパクト化

